

# 第10回全国源流シンポジウム

はじまり、そして再び  
心が還る 天川村。

熊野川最源流 ノウナシ谷と犬取谷の合流の釜滝

**日 時** 平成 21 年 9 月 12 日 (土) ~13 日 (日)

**場 所** 奈良県・熊野川最源流「天川村」

**会 場** シンポジウム会場「天川小学校」

**交流会**「天川村山村開発センター」

21世紀は環境の世紀です。日本民族は有史以来美しい国土と自然をこよなく愛し続けてきました。そんな国土の原風景が最も素朴な形で息づいているのが源流です。豊かな森林に覆われている源流地域は、私達に命の恵みを与えるとともに生活や文化と密接にかかわり人間の生き方や自然観にも大きな影響を与えています。水は命の源であり、「天地」(あめつち)の交わる山岳は古くから信仰の対象とされてきました。

天川村の峯々では、山岳信仰の聖地とされ今もなお厳しい修行が行われています。また、その山岳からは清冽な水が湧き出ています。水と水を育むすべての環境と、そこで培われ歴史と文化を再認識する事により、源流地域がもつ資源とその価値を広く社会に発信し、「自然に抱かれ、そして恵みに感謝しながら生きる。」と言う事を考えたいと思います。そのために、住民、企業、団体、行政が共に連携してこのシンポジウムに取り組み、源流地域が未来に存続し、輝き続ける事の出来る社会の構築を目指します。

主催 : 第10回全国源流シンポジウム実行委員会

事務局 天川村役場 地域政策課内 〒638-0392 奈良県吉野郡天川村沢谷 60 番地

E-mail [chiikiseisaku@vill.tenkawa.lg.jp](mailto:chiikiseisaku@vill.tenkawa.lg.jp) TEL0747-63-0321 FAX0747-63-0329

共催 : 天川村/全国源流の郷協議会/NPO 法人全国源流ネットワーク

協力 : 天川村議会/天川村区長連合会/天川村消防団/天川村ボランティア協議会/天川村女性の会/天川村ボランティアグループこまどり/天川村社会福祉協議会/天川村商工会/天川村森林組合/天川村漁業協同組合/天川を学ぶ会/天川村交通安全協会/大峯山洞川温泉観光協会/洞川財産区/洞川温泉旅館組合/大峯山龍泉寺/天河大辯財天社/大峯山陀羅尼助製薬有限公司/関西電力株式会社/天川小学校/NPO 森林再生支援センター

協賛 : 熊野川流域対策連合会/平城遷都 1300 年記念事業協会/(社)近畿建設協会/

後援 : 国土交通省/林野庁/奈良県/奈良県ビジターズビューロー/環境省 (予定)

このシンポジウムは(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています。



平城遷都  
1300年祭

実行委員長あいさつ（天川村長<sup>かきさかやすまる</sup>柿坂彌壽麿）

このたび天川村で「第10回全国源流シンポジウム」を開催させていただき事となりました。全国各地から、ご参集下さる皆様を心から歓迎申し上げます。

天川村は紀伊半島のほぼ中心で、その脊梁をなす大峯山脈の主脈である山上ヶ岳（さんじょうがたけ）、弥山（みせん）、八経ヶ岳（はっきょうがたけ）を擁する熊野川の最高所・最源流部であります天の川が流れる山村です。

「天の川」という地名を残してくれた先人達に感謝が絶えないのでありますが、古の都人は漢の時代の故事に倣って、都の南方に広がる山塊を「南山」とよんで聖地化しました。言いかえますと飛鳥・藤原・平城の南部、吉野川を隔てて立ち上がる大峯の山々があればこそ、大和平野に都が開かれたといっても過言ではありません。その都人達が神聖視する山中に流れる清らかな川の流れは「天と地」の境であり、天にも届く川であるという事で、「天の川」と呼ばれたか、夜空の「天の川（あまのかわ）」を擬えて「天の川（てんのかわ）」とよばれたのか知りませんが、「天の川」は悠久の流を今も湛えており、飛鳥・奈良時代より天の川郷とよばれた地域の名称は、市町村制発布以降、天川村となり120年の歴史を続けております。

天川村の峯々では、山岳信仰の聖地とされ今もなお厳しい修行が行われています。また、その山岳からは清冽な水が湧き出ています。

このシンポジウムを通じて水と水を育むすべての環境と、そこで培われ歴史と文化を再認識する事により、源流地域がもつ資源とその価値を広く社会に発信し、「自然に抱かれ、そして恵みに感謝しながら生きる。」と言う事を考えたいと思います。

より多くの皆様方のご参集をお待ち申し上げます。

**第1日目：12日（土曜日）**

- 9：30 地球交響曲「ガイアシンフォニー第四番」上映  
12：00 シンポジウム受付  
13：00 オープニングセレモニー（映像の放送）  
13：15 開 会 挨拶 実行委員長 天川村長 柿坂彌壽麿  
全国源流の郷協議会 会長 小管村長 来賓挨拶・・・  
13：35 基調講演 テーマ『全ての生命が潔く、健やかに生き続けるために』  
龍村仁氏（映画監督）  
14：25 特別報告（長野県根羽村・岡山県新庄村・山梨県小管村）  
14：50 基調提言 テーマ『源流を生かした地域づくりへの提言』  
渋沢寿一氏（全国樹木環境ネットワーク理事長）  
15：05 休 憩  
15：15 パネルディスカッション テーマ『源流発、地域の再生に向けて』  
コーディネーター 高橋裕氏（東京大学名誉教授（河川工学））  
パネリスト 菅谷文則氏（榎原考古学研究所長）/高田研一氏（森林再生支援センター理事）  
中嶋章雅氏（国土交通省河川局河川環境課長）/柿坂匡孝氏（天河大辯財天社禰宜）  
中村文明氏（全国源流ネットワーク代表）  
16：40 天川宣言  
16：45 次期開催地 挨拶 相模川源流 山梨県道志村長  
16：50 閉 会  
17：20 全国源流の集い（天川村山村開発センター）  
開会・・・参加者アピールタイム・・・各地域の参加者による地域自慢等  
19：30 終了・・・それぞれの宿へ（洞川地区で燈花会が開催されています。）

**第2日目：13日（日曜日）**

- ～ 天川村エクスカージョン実施  
大峯山山伏一日修行/熊野川最源流ツアー/天川村名所早周リツアー/座学/  
13：00 エクスカージョン終了

## 天川村エクスカーション

### 〈体験・チャレンジメニュー〉

- ① **大峯山 山伏一日修行**【参加費5,000円】 定員50人 (最少実施10人)  
修験道の根本道場である大峯山では現在も厳しい山岳修行が1300年のときを越えて行なわれています。そんな修行の一部を垣間見ることが出来るのが、山伏一日修行です。日ごろの罪を懺悔してまさに再生するためにご参加下さい。

2:00起床 ~2:30宿出立~2:45大峯大橋より山上ヶ岳に向けて登拝開始

5:30龍泉寺宿坊到着(弁当)~6:20裏行場出発(希望者のみ)~

7:30龍泉寺宿坊出発(下山)~9:00大峯大橋~宿まで移動後入浴~

10:00終了証授与~11:00昼食(精進揚げ料理)~解散

(女性は稲村ヶ岳・大日山の修行となります。(最少実施人数10人))

※ 山伏一日修行をご希望の方は必ず「洞川温泉旅館組合11軒」でお申し込み下さい。

- ② **熊野川最源流探訪ツアー**【器材費レンタル料 5,000円】定員30人(最少実施10人)  
熊野川の源流部である天の川の本源流が神童子谷だと考えられます。天川村でも最も深いこの谷は自然の宝庫です。エメラルドに輝く美しい天川村の最深部をキャニオニングしながらリラックス体験してください。

8:30 宿出立~神童子谷入り口~へっついさん~赤鍋の滝 13:00解散

※ 参加者は必ず水着を持参してください。・・・川で泳がなければなりません。・・・

### 〈名所めぐりメニュー〉

- ③ **天川村名所旧跡早周リツアー**【参加費 1,500円】  
天川村の名所旧跡を「天川を学ぶ会」のメンバーと共に一回り。  
天川村の魅力はやはり「水」。水への感謝が信仰となって地域に息づいています。名水100選の「洞川湧水群」は周辺のカルスト地形の中から湧き出ています。みたらい溪谷は巨石・奇岩の積み重なる天川村の一押しスポット。有名な天河大辯財天社は「水」を司る神が祭られ、そして芸能の神としても有名。1300年の歴史を垣間見る天川散策をお楽しみ下さい。  
9:00 龍泉寺集合~大峯大橋~母公堂~ごろごろ水~みたらい溪谷~天河大辯財天社~(昼食) 解散 13:00

### 〈座学メニュー〉

- ④ 「天川の現状から見る自然再生への方向」【参加費1,500円】  
大峯山系、「八経ヶ岳・弥山」は紀伊半島の最高所に位置しており、本州南部地域では珍しい植生が見られました。しかし、シカ食害や気候変動など様々な要因が複合的に関連して悪影響となり、樹木の枯死、植生の衰退、山腹崩壊等によりすべての生物の多様性が著しく減退しています。  
こういった現状をふまえて、今何が出来るのか、何をしなければならぬのか参加者の皆さんと考えて行きたいと思えます。

時間 : 開始9:30~12:00終了~弁当~13:00解散

会場 : 洞川エコミュージアムセンター レクチャールーム

講師 : 奈良教育大学 松井 淳 教授 龍谷大学 横田岳人 准教授  
森林再生支援センター 高田研一 理事 etc

※各エクスカーションの参加は事前の予約申し込みが必要です。  
※シンポジウム参加については申し込み書の所定の欄に希望順にご記入下さい。  
※エクスカーションは定員によりご希望に添えない場合があります。  
※体験チャレンジメニューについては、天候により中止若しくは変更する場合があります。  
※体験チャレンジメニューは最少実施人数に達しない場合は中止する事があります。  
※各エクスカーションでは昼食代を含んでいます。  
※各エクスカーションの終了時間を13:00と設定いたしております。  
※①大峯山山伏一日修行に参加ご希望の方は必ず「洞川温泉旅館組合加盟11軒」をご予約下さい。

## 申し込み方法

●添付の申込書に必要事項を記入の上、事務局宛にFAX若しくは郵送、E-mailによりお申し込み下さい。

注1) 電話でのお申し込みは受付ませんのでご承知下さい。

注2) E-mailでのお申し込みの場合は所定の様式以外ではお受けできませんのでご注意ください。

注3) エクスカーションについては参加人数や天候より中止となる場合がありますので、予めご了承下さい。

注4) エクスカーション及び源流の集い(交流会)については人数に制限がありますので、大変申し訳ありませんが、定員になり次第閉め切らせていただきます。

- お申し込みの際、天川村までの利用交通機関をお教え下さい。受付確認票ご送付の際、天川村までの交通手段等のご案内させていただきます。
- 会場までの交通手段は各自でお願いします。尚、天川村の最寄となる近鉄下市口駅からは奈良交通バスをご利用下さい。会場から宿泊先までは送迎バスを運行いたしますのでご利用下さい。
- 宿泊の欄でも記載していますが、宿所の手配は個人でお願いいたしております。方面別の村内の移動の準備が必要となりますので、申し込みの際**予約済みの宿所名をお教え下さい。**

## 参加費

(各コースとも昼食代を含みます。)

それぞれの参加費はシンポジウム受付の際一括してお受けいたします。

○シンポジウム当日(12日)の昼食(弁当).....	1個	1,000円(お茶付き)
○シンポジウム.....	無	料
○全国源流の集い(交流会).....		【参加費4,000円】
○エクスカーション		
①大峯山山伏一日修行.....		【参加費5,000円】
②熊野川最源流探訪ツアー.....		【器材費5,000円】
③天川村名所旧跡早周りツアー.....		【参加費1,500円】
④座学メニュー「天川村の現状から見る自然再生の方向」.....		【参加費1,500円】

注1) ①大峯山山伏一日修行をご希望の方は早朝の出発である事と、運営を洞川温泉旅館組合が行います関係上、必ず「洞川温泉旅館組合加盟11軒」の宿所をお選び下さい。

## 宿泊

○ご宿泊につきましては、大変ご面倒ですが天川村宿泊施設案内図を参考に、個人でご予約いただきますようお願いいたします。また、お支払いにつきましてはそれぞれ各自がお済ませ下さい。

○宿泊料金につきましては、それぞれ設定が違いますので、別紙宿泊一覧表をご参考にして下さい。

○シンポジウム当日の「源流の集い(交流会)」に参加して、宿泊することを前提として(1泊朝食付き)の宿泊料金の設定をしております。交流会に参加されず夕食をご希望の方は宿泊料が変わりますので宿所にお問い合わせ下さい。

○宿泊の申し込み人数によっては相部屋となる場合がありますので予めご了承下さい。

○エクスカーション①大峯山山伏一日修行は早朝2時の起床となります。集合時間厳守でお願いいたします。

○宿泊施設のキャンセル等につきましては、各自が確実に連絡してください。キャンセル料等につきましても予約した宿所にお尋ね下さい。

## お申し込み・お問い合わせ先

〒638-0392 奈良県吉野郡天川村沢谷60番地 天川村役場地域政策課内

第10回全国源流シンポジウム実行委員会事務局

FAX 0747-63-0329

TEL 0747-63-0321

E-mail: [chiikiseisaku@vill.tenkawa.lg.jp](mailto:chiikiseisaku@vill.tenkawa.lg.jp) HP <http://www.vill.tenkawa.nara.jp/>

# 天川村内旅館・民宿一覽表 《市街局番 0747》

洞川温泉地区			中央地区		
◎温泉旅館	電話番号	金額	◆旅館(川合地区)	電話番号	金額
※山伏一日修行をご希望の方は赤囲いの旅館をご予約下さい			弥仙館	63-0018	7,000円～
紀の国屋甚八	64-0309	7,000円～	前平旅館	63-0010	
光緑園西清	64-0306				
西儀	64-0339		●民宿(川合周辺)	電話番号	金額
角甚	64-0336		民宿もり	63-0353	4,725円～
久保治	64-0018		山風荘	63-0518	
花屋徳兵衛	64-0878		畠中	63-0026	
あたらしや	64-0045		民宿あおば	63-0478	
さら徳旅館	64-0033		その他		
丸文旅館	64-0013		天川ユースホテル	63-0154	4,600円～
奥村	64-0311		●民宿(天河辯財天社周辺)	電話番号	金額
梶源	64-0316	今西	63-0514	4,725円～	
いろは	64-0038	本家柿坂	63-0003		
大豊館	64-0623	民宿名迫	63-0604		
柳屋	64-0621	びわ	63-0556		
一丸	64-0030	井頭	63-0017		
◆民宿	電話番号	金額	その他		
喜楽	64-0510	7,000円～	ペンションミルキーウェイ	63-0800	6,500円～
あきたや	64-0517		西部地区		
石楠花荘	64-0555		●西部地区<民宿>	電話番号	金額
尾の屋	64-0057		大谷屋	65-0009	4,725円～
おかむら	64-0056		沢村	65-0031	
その他					
翠嶺館	64-0138	5,250円～	その他		
プチホテルSHOBU	64-0802	6,000円～	大和屋	65-0008	5,250円～
ゲストハウス一休(素泊まり)	64-0212	4,000円～	花子	65-0875	5,500円～

※第10回源流シンポジウムへご参加の皆様で宿泊をなされる方は、大変ご面倒ですが、直接上記の宿泊施設にご予約いただきますようお願いいたします。

尚、本表に記載の宿泊料金はシンポジウム当日(12日)の宿泊(1泊朝食付き)を掲載いたしております。  
また、都合により相部屋となる事がございますので、予めご了承下さい。

※9月12日(土)の夜には洞川温泉地区で3500個のローソクが境内を埋め尽くす「龍泉寺燈花会」が開催されますので、皆さんお楽しみ下さい。

※エクスカッション「山伏一日修行」をご希望の方は、「洞川温泉旅館組合加盟11軒」の内でご予約下さい。

# 天川村宿泊施設案内図

宿泊お申し込みについては、表中の施設にご自分で御連絡いただきますようお願い申し上げます。

## 中央地区

上流部についてはシンポジウム会場から車1~2分の距離にあり、下流部については車で5分程度の距離となっております。

## 中央地区 下流部〈民宿〉

《市街局番 0747》  
 民宿（天河弁財天周辺）

●今西	63-0514
●本家柿坂	63-0003
●民宿名迫	63-0604
●びわ	63-0556
●井頭	63-0017
ペンションミルキーウェイ	63-0800

(6,500円)

## 中央地区上流部

〈一般旅館・民宿〉  
 《市街局番 0747》

旅館（川合）

◆弥仙館	63-0018
◆前平旅館	63-0010

民宿（川合周辺）

●民宿もり	63-0353
●山風荘	63-0518
●島中	63-0026
●民宿あおば	63-0478
天川ユースホテル	63-0154

(4,600円)

エクスカーション：①大峯山山伏一日修行をお申し込みの方は洞川温泉地区の温泉旅館をお申し込み下さい。  
 また、④「座学」のご希望の方も洞川温泉地区でご宿泊をご希望下さい。

## 洞川温泉地区

シンポジウム会場から車で約10分の距離の温泉旅館街

## 洞川温泉地区 〈温泉旅館〉

《市街局番 0747》

旅館組合加盟11軒

◎紀の国屋甚八	64-0309
◎光緑園西清	64-0306
◎西儀	64-0339
◎角甚	64-0336
◎久保治	64-0018
◎花屋徳兵衛	64-0878
◎あたらしや	64-0045
◎丸文旅館	64-0013
◎さら徳村	64-0033
◎奥村	64-0311
◎榎源	64-0316
◎いろは	64-0038
◎大豊館屋	64-0623
◎柳	64-0621
◎一丸	64-0030

## 洞川温泉地区〈民宿等〉

《市街局番 0747》

◆喜楽	64-0510
◆あきたや	64-0517
◆石楠花荘	64-0555
◆尾の屋	64-0057
◆おかむら	64-0056
翠嶺館	64-0138

(5,250円)

プチルSHOBU 64-0802 (6,000円)

ゲストハウス一休 64-0212 (4,000円素泊まり)

## 西部地区

シンポジウム会場から車で約15分から30分の距離に点在

## 西部地区〈民宿〉

《市街局番 0747》

●大谷屋	65-0009
●沢村	65-0031
大和屋	65-0008

(5,250円)

花子	65-0875
----	---------

(5,500円)

## 西部地区

## 中央地区

## 洞川温泉地区

山上ヶ岳（大峯山）▲

シンポジウム：天川小学校  
 交流会会場：天川村山村開発センター

天河大辯財天社

弥山（天河神社奥宮）▲

八経ヶ岳（近畿最高峰）▲  
 明星ヶ岳▲

# 「第10回全国源流シンポジウム」宿泊申し込み要領

第10回全国源流シンポジウムにご参加いただきまして誠に有難うございます。

天川村の集落は洞川温泉、中央、西部の概ね3地区に分かれており、宿泊施設についても3地区に分散しておりますことから、宿所のお申し込みについては大変お手数をおかけしますが、宿泊施設案内図に記載の各宿泊施設の中からご希望の施設を選択されて個人で直接ご予約いただきますようお願いいたします。

尚、お申し込みの際は「源流シンポ」の参加者である旨をお伝え下さい。

※翌日のエクスカージョンで「①山伏一日修行」をお申し込みの方は必ず「洞川温泉旅館組合加盟11軒」に宿所をお申し込み下さい。

また、洞川エコミュージアムセンターで実施する「④座学」をご希望の方も、洞川温泉地区での宿泊が便利です。

※源流の集い終了後、洞川温泉地区では3,500個のローソクが、夜の夜長をほのぼのと彩る「龍泉寺燈花会」が幻想的な雰囲気の中、参加者の皆様をお迎えいたしております。燈花会をご覧になれる方は洞川温泉地区の宿泊施設をお申し込み下さい。

※ シンポジウム当日の宿泊については、基本的に一泊朝食付きの料金で設定いただいております。  
前泊あるいは後泊なされる方も、シンポジウムの参加者であるとお伝えいただきお申し込み下さい。

〈洞川温泉地区〉（シンポジウム会場から車で約10分程度）

◎洞川地区温泉旅館：（1泊朝食）7,000円

◆洞川地区旅館：（1泊朝食）7,000円

洞川地区：プチホテルSHOBU（1泊朝食）6,000円 ゲストハウス一休（1泊素泊まり4,000円）

〈中央地区〉（シンポジウム会場から車で約1分～5分程度）

◆中央地区：旅館（1泊朝食）7,000円

●中央地区協定民宿：（1泊朝食4,750円）

中央地区：上流部 天川ユースホステル（一泊朝食4,600円）

中央地区：下流部 ペンションミルキーウェイ（一泊朝食6,500円）

〈西部地区〉（シンポジウム会場から車で15分から30分程度）

●西部地区協定民宿：（1泊朝食4,750円）

西部地区：大和屋（一泊朝食5,250円） 花子（一泊朝食5,500円）

※各宿泊施設とも、お申し込みの人数により相部屋となる事がございますので予めご了承下さい。

## 新幹線利用の場合

関東方面より・・・新幹線京都駅下車～近鉄橿原線～橿原神宮前駅～乗換え～吉野線下市口駅下車→奈良交通バス天川川合下車

西日本方面から・・・新幹線新大阪駅下車→地下鉄御堂筋線難波駅下車→近鉄難波駅→大和八木駅乗換え→橿原神宮前駅～乗換え～吉野線下市口駅下車→奈良交通バス天川川合下車

## 飛行機ご利用の場合

大阪空港（伊丹）・・・空港リムジンバス→あべの橋→徒歩2分→近鉄阿倍野橋駅→近鉄特急→吉野線下市口駅下車→奈良交通バス天川川合下車

関西空港（関西）・・・関西→JR 関西特急→天王寺駅→徒歩1分→近鉄阿部野橋駅→近鉄特急→吉野線下市口駅下車→奈良交通バス天川川合下車



### みどころいっぱい「天川村」

天の国・木の国・川の国 年間70万人の方が訪れる天川村は、紀伊半島中央部に位置し、その面積の約4分の1が吉野熊野国立公園に属する、近畿最高峰を擁する最源流の村です。また、世界遺産や国土交通省「水の郷」、環境省「名水百選」、日本百名山、日本の滝百選に選ばれるなどとともに、古来よりの有名な寺社等もあり、宗教の発祥と深く関わるなど、豊かな自然と歴史・文化を誇る、これらの「宝」と共に暮らす村です。

また標高が高いことから大阪市内などより気温が5度程度低く、避暑地として有名で、寒暖の差が激しいことから紅葉の名所とも言われています。  
人口 1,800人 777世帯（平成17年国調）  
面積175.70平方キロ

## 天川村へのアクセス

### 電車・バスの場合

京都（東京方面）から

近鉄京都駅 → (橿原神宮前のりかえ)  
(JR京都駅) <近鉄特急で約1時間30分>

大阪方面から

近鉄阿部野橋 → (吉野行)  
(JR天王寺駅) <近鉄特急で約1時間>

（天川川合まで約1時間）  
洞川温泉行または中庵住  
駅前から奈良交通バス

※名古屋からは近鉄大和八木駅乗換えが便利です。  
※関西空港からはJR天王寺乗り換えまたは、大和八木駅行空港バスが便利です。

### お車の場合

大阪市方面から

南阪奈道路経由R169・R309で天川村へ  
(大阪市内から天川村川合まで約2時間～2時間半)

京都・奈良市方面から

京奈和自動車道橿原バイパス経由R169・R309で天川村へ  
(奈良市内から天川村川合まで約2時間)

名古屋方面から

名阪国道針ICからR370経由R169・R309で天川  
(針ICから天川村川合まで約1時間45分～2時間)  
(名古屋西ICから約3時間半)

※みずはの湯方面へは、五條市からR168経由が便利です。

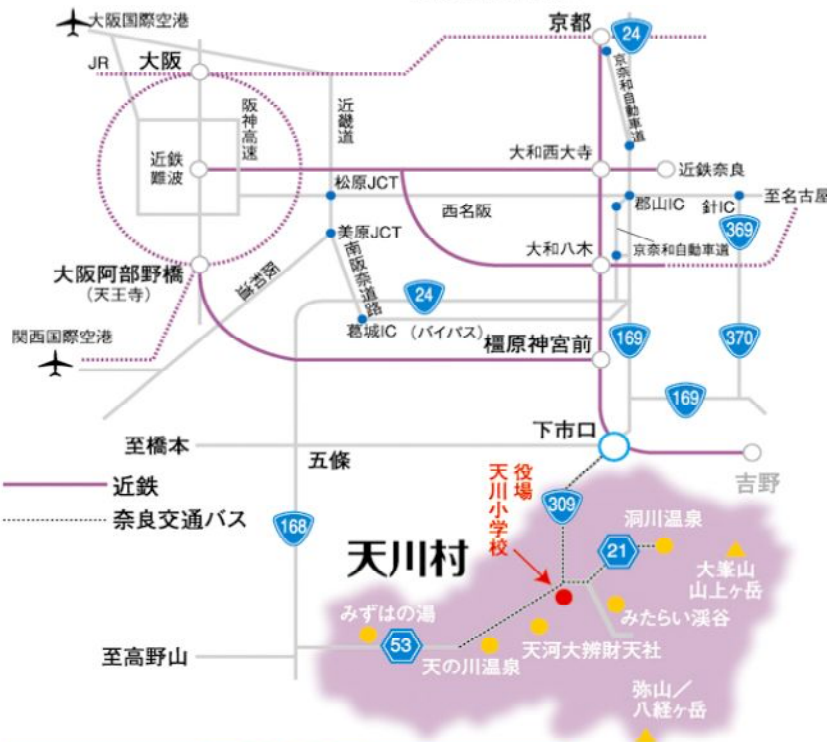
### 村内移動時間の目安

天川村川合（天川村総合案内所）から

- みたらい溪谷 【2.5キロ】 車5分、徒歩45分
- 天河大辨財天社 【3.2キロ】 車5分、徒歩45分
- 天の川温泉 【3.4キロ】 車5分
- 洞川温泉 【5.5キロ】 車10分
- 大峯大橋 【10キロ】 車17分
- みずはの湯 【15キロ】 車25分
- 行者還トンネル（西口）【15キロ】 車30分
- ※→R169大淀町道の駅センター【27キロ】 車40分
- ※→R168大塔町阪本 【22キロ】 車30分

### その他移動時間の目安

- \*橿原神宮・明日香村から約1時間
- \*高野山奥の院から約1時間余（県道53号経由・大型車不可）
- \*熊野本宮大社から約2時間余（県道53号経由・大型車不可）
- \*大台ヶ原から約1時間半（大型車不可、冬期迂回必要）



### 交通機関利用情報

- <電車> 近鉄テレホンセンター（大阪） ☎06-6771-3105  
（名古屋） ☎052-561-1604
- <バス> 奈良交通テレホンセンター ☎0742-20-3100
- <村内タクシー> 天川タクシー（北角） ☎0747-63-0015  
大峯タクシー（洞川） ☎0747-64-0157

### お問合せ

天川村地域政策課 ☎0747-63-0321

FAX 0747-63-0329

〒638-0392 奈良県吉野郡天川村沢谷60



天川村役場 検索  
http://www.viii.tenkawa.nara.jp/

### シンポジウム会場

「天川小学校体育館」

源流の集い会場

「天川村山村開発センター・役場」

※お車の方は天川村役場駐車場をご利用下さい。